

# 沼田市コロナ対策を追加

新型コロナウイルス感染症拡大の第2波が襲っている中、沼田市は7月20日追加対策として、市長専決による総額約7億円の補正予算を措置しました。それらの内容を紹介します。

## 【生活支援】

1. 生活福祉資金貸付制度利用世帯のうち総合支援資金借入世帯に対し10万円を支給
2. 国のひとり親世帯臨時特別給付金5万円に市で5万円を、第2子以降国の3万円に1万円を上乗せ給付
3. 出産応援給付金事業新生児10万円7月31日締め切りを年度末まで延長



## 【医療、福祉、子育て事業従事者支援及び事業者支援】

1. 国の支援制度の対象外となっている、保育従事者、学童保育従事者に対し5万円を支給
2. 医療従事者、介護施設従事者への国の慰労金（5万円、コロナ感染者に対応した人は20万円）にそれぞれ3万円を上乗せ支給
3. 保育施設、学童施設へのコロナ対応支援、総額1,500万円
4. 修学旅行キャンセル料支援



園児たちと保育士さん

## 【事業継続支援】

1. 路線バス、タクシー事業者等への事業継続支援、総額1,200万円
2. 沼田マルシェオンライン及びwithコロナチャレンジの継続
3. 市内外の消費を喚起するためのポイントバックキャンペーンの実施、総額1億100万円
4. 宿泊者を対象としたプレミアムクーポン券発行事業
5. 市内観光誘致を促進するためツアーバスへの補助、宿泊6万円、日帰り4万円  
(右につづく)

## 国民の命と・健康・生活を最優先に！ 市民と野党の共闘で野党連合政権を

新型コロナ感染症が全国に拡大し、解散総選挙のウワサが流される中26日、日本共産党キャラバン街頭宣伝が裁判所前で開催され、前衆院議員梅村さえこ北関東ブロック予定候補およびたなはしせつ子群馬1区予定候補が、「コロナ感染拡大に無策な安倍政権を今度こそ倒し、市民と野党の共闘で野党連合政権をつくり、国民の命・健康・生活最優先の政治を実現しましょう」と沼田市民のみなさんに訴えました。



車の右前は井之川博幸市議

## 沼田市政改革大綱について(5)

さて人口減少の主な原因の2点目は、出生が急速に減少していることです。合併した2005年は459人でしたが10年後の15年は320人、18年は261人まで減っています。死亡数は05年582人から18年は697人ですから、その差は▲123人から▲436人にも広がっています。婚姻数は05年の226組から18年の168組と減っています。

市では、不妊治療に助成をすとか、出会いを応援する「ハッピープロジェクト」などの事業を推進していますが、現実には先のとおりです。若者が減少する、婚姻・出生が減少する悪循環で歯止めがかかりません。(つづく、今回は昭和村と比べてみます。)

## 【新しい生活への対応】

1. 児童、生徒の給食配膳時の密集を回避するための備品購入
2. 第2波以降に備えた分散勤務やキャッシュレス納付等への対応
3. 災害避難時の三密回避のための準備
4. Withコロナオリジナル風呂敷製作
5. 市有施設コロナウイルス感染症対策備品の整備

2020年8月9日 No.982

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料